

# くるまづかいせき 車塚遺跡

地元説明会資料



車塚遺跡と周辺の遺跡



平成 22 年度調査区

(写真右上に今回の調査地点が位置している)

車塚遺跡の発掘調査は、平成 20 年度から始まり、今回で 4 年目となります。本年度をもって、予定部分の調査が全て終了しました。昨年度までの調査では、縄文時代、弥生時代後期～終末期、古墳時代後期～古代の幅広い時期に及ぶ遺構・遺物が確認されています。

本年度の調査成果はこれらを補足するものでしたが、特に弥生時代後期～終末期の方形周溝墓群が検出された事に注目したいと思います。

これらの方形周溝墓群は、昨年度調査区で確認できた 7 世紀代の古墳群の北西部にほぼ接するカタチで分布していました。

一部の方形周溝墓の溝では、最上部から奈良時代頃の須恵器が出土しています。古墳群を築造する段階では方形周溝墓の溝が完全に埋まった状態ではなく、古い墓がある事がわかったと思われ、古墳は築造これら avoiding 築造されたものと考えられます。



日時 平成 23 年 8 月 7 日 (日) 午前 11 時～

主催  (公益) 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター

<http://www.maibun.com./top/>

支援  株式会社 磯谷組・ 株式会社 イビスク

# 車塚遺跡遺構図

平成 21 年度調査区  
(この図では省略)

弥生時代後期～終末期・古墳時代  
後期～古代の竪穴建物・掘立柱建物群

A 区



B 区



6 世紀代の古墳 2 基 (★印)

平成 22 年度調査区

弥生時代後期～終末期の  
方形周溝墓 5 基 (●印)

Ca 区



7 世紀代の古墳 9 基 (■印)

Cb 区



平成 23 年度調査区

0 20m  
(S=1/600)